



家庭児童相談室の窓から

秋から冬にかけては、学校に居場所がなく、相談室を訪れる子どもたちにとって厳しい季節です。中学3年生は受験するなら志望校を決めるようにと学校からも家族からも迫られますが、学校生活を楽しくないと感じている子どもにとって、その判断は簡単ではありません。また高校に登校できない子どもは、留年するか、中退するか、退学したら何をするのかを巡って揺れます。留年したくないと思っても、出席しなければ単位はとれず、かといって登校も容易ではなく、堂々巡りが続きます。

最近是不登校への理解が進み、無理やり登校させようとする保護者は少なくなりました。ただ、子どもが中学3年生や高校生となると、そののんびり構えてはいられません。周囲が

焦ったところで、本人次第ということは百も承知、けれど見ていられずに「いったいどうするつもり?!」と子どもに結論を急がせる保護者の気持ちもわかります。

子どもにとっても保護者にとってもつらい時期ですが、こういうなかで子どもが別の人格をもったひとりの人間であると保護者が気づくこともあります。どんなに心配でも、保護者が代わりに登校したり、受験したりはできません。子どもの人生は子ども自身が切り開いていくしかないのだと保護者が考えるようになり、子どもとの距離のとり方が変わってくる、学校の問題についても出口が見えてくるようです。笑顔で春を迎えるためには、子どもとの一体感を卒業する寂しさを保護者が乗り越えることが必要なのかもしれません。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室のご案内
あなたの安えに…
家庭のこと、子どものこと、自分のこと

熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 全曜日10:00~18:00 / 実業日10:00~18:00
(12:00~13:00は昼休み)
休まず、夜間日は休みです。費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 守弘仁志 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291



■古紙再生率100%の再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。